

2021.11.15

ウェーブ

時評



田中 均

たなか・ひとし=69年京大法卒。外務省経済局長、
アジア大洋州局長、外務審議官を経て（株）日本総
研国際戦略研究所理事長、（公財）日本国際交流セ
ンターシニア・フェロー。

日韓、背景の複雑な心理

日本と韓国の関係を改善していくことは難しい。困難な最大の要因は、歴史が培い両国民の間に根深く存在するに至っている複雑な心理だ。隣国同士であり、米国や中国に向け合う上で緊密な関係を構築しなければならないといった関係改善の合理的理由を探すのは簡単であるが、日韓の複雑な心理を変えていくには、相当な意識的努力が必要となる。

近代における日本の朝鮮半島に対する行動の背景には、中国の強い影響下にある朝鮮を自国の影響下に置かないと日本の安全は担保できないという認識があつたのだ

ろう。日本は日清戦争、日露戦争を経て日韓併合で朝鮮半島を直接の支配下に置いた。あの壮大な朝鮮総督府の建物を朝鮮王朝の宮殿であつた景福宮の前に建設し視界を遮ったのは、朝鮮の人々に日本

の力を思い知らせるためだったのだろう。支配者として振る舞つた日本に対して朝鮮の人々が怨念を持つても何ら不思議ではない。

鑑みれば日本の支援は当然」という心理が働いた。

その間、韓国は先進国経済として国際社会に仲間入りし、日本に追いつこうとしてきた。1988

年

年のソウルオリンピックや2002年のサッカーワールドカップの日本との共催はその象徴的意味合いを持った。おそらくこの時期に

日本

は日本と似通った情感にあふれた作品であつたからで、今日の音楽グループ BTSや連續ドラマ「イカゲーム」は普遍性をもつて世界に受け入れられている。

2000年代にはじまる20年間に日本との心理的側面は大きく変わる。日本では1990年代に引き続く低成長で沈滞した「失われた時代」となり、とりわけ過去

10年

は日本や韓国が大きく台頭するのに取り残されている日本といふ意識の下、保守ナショナリズムが台頭してきた。今や韓國の一人の関係として相手を尊重することを基本とする信頼関係を作ること

上述したエンターテインメントの世界でも韓国には日本を追い越し世界に受け入れられたという誇りもあるのだろう。関係を改善するのが日韓の共通利益であるとするなら、まず向き合わなければいけないのは両国が

た韓国ドラマがもてはやされたのが残った一方、韓国には「歴史にが残った一方、韓国には「歴史にとで、両国民がこれまで持つてい鑑みれば日本の支援は当然」という心理が働くことなのだ複雑な心理を変えることなのだろ。日本は「これだけ韓国を助けてきたのだから韓国が日本との約束を破ることなど言語道断」といつた「裏切られ感」をなくして、韓国は「歴史を正しく認識すれば韓国の主張を聞いて当然」といつた「甘え」を無くさなければならぬ。しかしこのような国民心理の変化が自然に生じるわけではない。しかしこのような国民心理の変化が自然に生じるわけではなく、韓國の文化開放が進み、日本では日本や韓国が大きくなっている。しかし当時の韓流ブームは今日とは異なった時代」となり、とりわけ過去10年は中国や韓国が大きく台頭す

るのに取り残されている日本といふ意識の下、保守ナショナリズムが台頭してきた。今や韓國の一人の関係として相手を尊重することを基本とする信頼関係を作ること

ためには、両国の指導者が、対等